

先端研究基盤共用促進事業シンポジウム 2019

研究力向上の原動力である 研究基盤の充実に向けて

- 産学官の全ての研究者に開かれた研究設備・機器の実現に向け、大学・研究機関の先進的な取組を紹介します。
- 持続的な研究基盤の充実と、それを支える技術職員の活躍促進について考えます。


令和元年

9月5日(木) 10:30~17:00
〈開場10:10〉

幕張メッセ国際会議場【2階 201会議室】

(JASIS2019 コンファレンスプログラムとして実施)

参加費：無料 **事前登録：不要***

※シンポジウム参加に関してはJASIS 2019の入場証(無料)が必要となります。 **JASIS 2019** 

午前の部

- 「共用プラットフォーム形成支援プログラム」事業の取組と成果について

詳細は裏面を
ご覧ください。

午後の部

- 「新たな共用システム導入支援プログラム」を基にした研究基盤の強化
- 「研究機器相互利用ネットワーク実証プログラム(SHARE)」実施機関における取組紹介
- 研究力向上の原動力である研究基盤の充実に向けて
- パネルディスカッション：持続的な研究基盤の構築・技術職員の活躍促進

主催：文部科学省科学技術・学術政策局研究開発基盤課
連絡先：【TEL】03-5253-4111(内線：4340/担当：水田)

先端研究基盤共用促進事業URL

http://www.mext.go.jp/a_menu/kagaku/shisetsu/index.htm



プログラム

時間	演題タイトル	講演者
10:30~10:50	主催者挨拶・事業趣旨説明	文部科学省
10:50~11:40	産学官イノベーションに資するNMR共用プラットフォーム	木川 隆則 理化学研究所 生命機能科学研究センター チームリーダー
	光ビームプラットフォームの取組	伴 弘司 高エネルギー加速器研究機構 物質構造科学研究所 学術フェロー
	原子・分子の顕微イメージングプラットフォームの取組と成果	阿部 光太郎 北海道大学 創成研究機構 コーディネーター
	風と流れのプラットフォームの取組と成果	坪井 誠司 海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 地球情報基盤センター 情報技術担当役[上席技術研究員]
	アトミックスケール電磁場解析プラットフォーム	品田 博之 ㈱日立製作所 研究開発グループ 基礎研究センタ 主管研究長
11:40~13:40	昼休憩	
13:40~14:10	持続的な研究基盤構築に向けた資金の好循環の仕組み	江龍 修 名古屋工業大学 副学長(産学官金連携、社会連携担当)
	共用システムと学内既存システムとの連結	水光 正仁 宮崎大学 理事・副学長(研究・企画担当)
	全学技術センターの戦略的取組	古賀 和司 名古屋大学 全学技術センター・分析・物質技術支援室長・企画室長(兼任)
14:10~14:50	阪奈機器共用ネットワークが目指す地域での機器共用連携の形	古谷 浩志 大阪大学 科学機器リノベーション・工作支援センター 副センター長、オープンファシリティ推進支援室 副室長、准教授
	技科大-高専-企業-公設試間における現地・遠隔利用を通じた研究機器の有効活用	齊藤 信雄 長岡技術科学大学 准教授
	次世代医療実現のための研究開発基盤ネットワークの構築・提供	小柴 生造 東北大学 東北メディカルメガバンク機構 教授
	ABC課題解決型共用システムネットワーク	澤木 弘道 慶應義塾大学 医学部共同利用研究室 技術員
14:50~15:05	研究力向上の原動力である研究基盤の充実に向けて	永野 智己 科学技術振興機構 研究開発戦略センター 総括ユニットリーダー
15:05~15:20	休憩	
15:20~17:00	パネルディスカッション： 持続的な研究基盤の構築 技術職員の活躍促進	モデレーター： 江端 新吾 東京工業大学 統括理事・副学長特別補佐、広報・社会連携本部 教授 ／内閣府政策統括官(科学技術・イノベーション担当)付 科学技術政策フェロー パネリスト： 江龍 修、水光 正仁、古賀 和司、永野 智己、 網塚 浩 北海道大学大学院 理学院長、理学研究院 物理学部門 教授

※JASIS2019「ブースNo.8A-505」において、先端研究基盤共用促進事業(共用プラットフォーム形成支援プログラム)の研究設備・機器の実際の利用方法などをご紹介しています。是非、お立ち寄りください。